

稀勢の里が引退

横綱在位12場所、相次ぐ故障

大相撲の第72代横綱稀勢の里(32)＝本名萩原寛、茨城県出身、田子ノ浦

部屋Ⅱが大相撲初場所4日目の16日、現役を引退することが決まった。

昨年11月の九州場所では横綱として87年ぶりに初日から4連敗(不戦敗を除く)を喫し、横綱審議委員会から初の「激励」を決議された。進退が懸かった今場所も初日から3連敗と不振で、昨年9月の秋場所千秋楽から不戦敗を除いて8連敗。1場所15日制が定着した1949年夏場所以降では貴乃花を抜いて横綱の単独ワースト記録となった。横綱在位12場所は昭和以降10番目の短さ。日本出身の最高位が不在となる。

2002年春場所初土俵。馬力を生かした攻めを武器に、貴乃花に次いで史上2番目に若い17歳9カ月で新十両に昇進するなど、スピード出世を果たした。その後は足踏みし、11年九州場所後に大関昇進。17年初場所では初優勝し、日本出身で19年ぶりの新横綱となった。続く春場所で左上腕などを痛めながら強行出場し、劇的に2度目の優勝。だが、けがの影響が残って故障が相次ぎ、力強さは戻らなかった。



初場所3日目、寄り切りで栃煌山に敗れた横綱稀勢の里Ⅱ15日、両国国技館

横綱短期在位

1	前田山	6場所
2	武蔵山	8場所
Ⅱ	安芸ノ海	Ⅱ
Ⅱ	琴桜	Ⅱ
Ⅱ	三重ノ海	Ⅱ
Ⅱ	双羽黒	Ⅱ
7	旭富士	9場所
8	玉の海	10場所
9	若乃花	11場所
10	玉錦	12場所
Ⅱ	男女ノ川	Ⅱ
Ⅱ	稀勢の里	Ⅱ

※昭和以降。若乃花は3代目

稀勢の里 寛(きせのさと・ゆたかⅡ本名萩原寛)茨城県牛久市出身、田子ノ浦部屋。02年春場所に鳴戸部屋から初土俵。17歳9カ月の新十両、18歳3カ月の新入幕とともに貴乃花に次ぐ史上2位の若さ。10年九州場所では白鵬の連勝を63で止めた。11年九州場所後に大関昇進。13年12月に部屋名称変更。17年初場所後に第72代横綱に昇進。同年春場所で22年ぶりの新横綱優勝。優勝2回。殊勲賞5回、敢闘賞3回、技能賞1回。得意は左四つ、寄り、突き、押し。188㌢、177㌔。32歳。